

現場の失敗と  
その反省  
X-7

## 冬季期間中の河川工事での失敗

### 1. 工事内容

当工事は平成15年度の12月～3月にかけて、河川の災害の災害復旧工事として護岸を復旧する工事であった。

### 2. 工事の経緯

当工事は、12月～3月の工期であったが、毎年2月下旬～3月中旬には雪解けによる河川の増水が予想される為、遅くとも2月下旬頃竣工させなければなりません。ところが、12月中旬の大雪の為、他工事の竣工が遅れ当該工事の着手が1月中旬になりました。

当工事を2月下旬までに竣工させる為、施工箇所の除雪、仮設工、土工を早く完了させることが急務となり、当初工程を組みなおし、施工機械を増やして施工しました。護岸工の基礎コンクリートが完了した頃、例年のない季節はずれの大雨が降り、その影響で雪解けも早まり河川が著しく増水し仮設道路が流失し、また、その仮設道路にバックホウを停めていた為、増水した川に横転してしまいました。

### 3. 反省点

例年のない予定外な大雨で想定した範囲内の仮設工では、増水時に対応できなかったがバックホウの仮置場を安全な位置に設けそこに保管するべきだったと思いました。

また、現場パトロールを徹底し、異常気象に臨機応変に対応することがとても大切な事だと再認識しました。二度と同じ失敗を繰り返さないように今後の工事に取り組んでいきたい。



写真-1 被災状況